

高等学校地理歴史科（地理）採点基準

2枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点
1	1	(ウ)		4
	2	ウ		5
	3	エ		5
	4	(1)	(ア)	
(2)		記号 (イ) 理由 この条約では、ドイツと西欧諸国との国境維持や不可侵が定められているため。	記号と理由がともに合っているものだけを正答とする。 理由は、内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	6
2	1	商品を満載した船や、橋の上まで露店が並び賑わっていることがみられ、水路を通じて中国の商業網の中核であったこと。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	6
	2	皇帝自らが面接を行って選抜した多数の進士出身の官僚を統率下においた独裁政治。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	6
	3	イ		4
	4	(エ)		4
	5	蘇湖（江浙）が、長江の下流にあり、宋代に稲田が開発されて中国経済の中心地域となったこと。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	5
3	1	健児		4
	2	エ		5
	3	エ		5
	4	武家諸法度によって参勤交代が制度化され、妻子は江戸に常時いることになり、3代から5代までの藩主は江戸で生まれることとなった。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	6
	5	I → III → II → IV		5
4	1	ポツダム宣言		4
	2	エ		5
	3	ア		5
	4	ウ → ア → イ		5
	5	アメリカが国際収支の悪化に伴い、金とドルの交換停止を行ったことから、日本は固定相場制を維持することができなくなり変動相場制に移行したため。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	6
5	1	地図Ⅰの大陸東岸と地図Ⅱの大陸西岸の海岸線の形がよく似ていることから、これらの大陸は、かつて一体であったものが分裂・移動して、現在の大陸分布にいたったという考え方。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	6
	2	エ		5
	3	ウ		4
	4	カ		4
	5	記号 イ 理由 原油のようなエネルギー資源を高い割合で輸出する国は輸出額が大きくなり、コーヒー豆や魚介類のような農産物・水産物を高い割合で輸出する国は輸出額が小さくなるため。	記号と理由がともに合っているものだけを正答とする。 理由は、内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	6

高等学校地理歴史科（地理）採点基準

2枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点	
6	1	エクメーネ	エクメネ, エクメネー もよい。	4	
	2	記号 C	記号と理由がともに合っているものだけを正答とする。 理由は、内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	9	
		理由			グラフA～Cのうち、人口の減少が予想されることを示しているBが、高齢人口率の高いヨーロッパである。人口の増加と穀物生産量の増加が予想されるAとCについて、人口と穀物生産量の増加の差がより大きいAが、稲の品種改良や灌漑等で食糧増産に成功したアジアである。そして、大規模な企業的農業を行い、移民を受け入れるなど人口増加率も比較的高いCが北アメリカである。
3	中国	インドと比較すると、中国は、15歳未満の人口が1970年から急激に減少しており、1970年代末からの「一人っ子政策」の影響で高齢化が急速に進行し始めている。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 6 × 2	
	インド	中国と比較すると、インドは、第1次産業人口の割合が高いため子どもは重要な労働力であり、乳児死亡率も高いことから、人口抑制があまり進んでいない。			
7	日常生活の中でみられる様々な地図を取り上げ、目的や用途に適した地図表現の工夫などについて理解させ、日常生活と結び付いた地図の役割とその有用性について認識させるよう工夫すること。		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10	
8	世界の自然環境、資源、産業、人口、都市・村落、生活文化、民族・宗教に関する諸事象の空間的な規則性、傾向性やそれらの要因などを系統地理的に考察させるとともに、現代世界の諸課題について地球的視野から理解させること。		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10	
9	1	工場の記号	工場の立地指向の特徴	工場の記号と工場の立地指向の特徴がともに合っているものだけを正答とする。 特徴については、内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 4 × 4
		図1	① (a) ウ 原料である石炭や鉄鉱石を輸入するため、港の近くに立地している。		
9	1	図2	② (b) ア 生産費を抑え、部品の調達速度を高めるため、一定の範囲に工場が立地している。	工場の記号と工場の立地指向の特徴がともに合っているものだけを正答とする。 特徴については、内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 4 × 4
		図3	③ (c) イ 輸送費を小さくするため、主原料となる石灰石の産出地域に立地している。		
		図4	④ (d) エ 製品が軽量で高付加価値なため、輸送に便利な地方の空港やインターチェンジ付近に立地している。		
		2	「1965年に操業していた工場」は地方の中心的な都市に立地していたが、「2013年に操業している工場」は、周辺地域に立地していることから、大きな市場のある人口の多い場所に立地していた工場が、高速道路等の交通網の発達により、輸送に便利な場所に立地するようになったことが読み取れること。		